



刊夕日八十二月六

石城郡の水田灌漑 早魘苦を全く一掃

今月一杯で田植完了

石城地方に於ける田植は六月十日頃から開始されて日頃漸く終了期となつたが今年の梅雨が無降雨であつたため夏井高久、大浦の各村では打越く旱天を苦にされてた折柄二三日來の曇雨に降雨量として少ないけれども河水の増加その他水の不足を相當に補はれて目下遅植部落の田植盛であるが今月一杯には殆んど完了、例年七月に入りて挿秧してゐた植田町の仁井田錦村の江原、草野村の六十枚方部も来月五日頃までに終了の見込みであつて毎年灌漑水に困つた小名濱町及び玉川村の一部は駿川疏水の復舊で今年には水不足どころか水に餘る大喜びで郡下に於ける早魘苦は全く一掃される事となつた

平壯年團の 話の交換會

明廿九日湯本無盡で平市壯年團では明二十九日午後七時から市内湯本無盡樓上に會員の話の交換會を催し感想、趣味、商賣上のこと何なりと妨げない五分間づゝ座談の交換會も行ひ話術の練習

小口、宅扱、貸切等 引續く活況の平驛

五月の収入一七四八圓増収
六月は二千五、六百圓増か
平驛に於ける貨物の活況は會報の如く前年に比して増収を續けてゐるが五月の成績は發送四六〇四噸(三八八六)七噸、貸切で一八二噸の増量で六月収入は前年に比し少なくも二千五百圓の増収を見込まれてゐる

磐城水工社で漁撈部を設置

大型漁船の貸付出願
小名濱町の磐城水産工業會社では同町々營魚市場を代行してゐるが東日本漁業會社が東北興業社から第一、第二東日本丸二隻の貸付を受け遠洋漁業に好成績を上げてゐるに鑑み事業下に於ける生産擴充を目的に漁撈部を設置し遠洋漁業をなす計畫で東北興業社に百三十五噸三百馬力の大漁船貸付方を願出

道路舗装に 部民勤勞奉仕

石城郡南に跨る新橋鮫川橋を中心として北部植田町、南部錦村地内の兩國道舗装は植田町通りは来る七月廿二日完成の見込み確だが錦村側の二百米が夫夫拂底で覺束なき爲め村民を擧げて此の完成に起ち警防員並びに同村大字大倉(沿線部落)部民三百名は目下勤勞奉仕に總出動してゐる

鈴木軍曹の 覺悟の遺書

今更に感泣
石城郡石住村の神山出身鈴木七郎軍曹は吉田部隊下に活躍湖北省の戦で去る五月十七日名譽の戦死をなしたが豫ねて第一線の同軍曹から戦死後開封されたいと母の實家である東白川郡宮本村小玉義信氏方へ託送されてある遺書書を兩

支那單語

マントのことはトウフ
エン、雨外套は雨衣で
ユイ、ボケツトの
ことをトル、帽子は
マオツ、靴をシユエツ
短靴または支那靴のこと
とを鞋と唱ひてシエ、
ハンカチはシオウチン

戦地の便り

高橋 武尙
六月二十一日快晴
五時半起床、露人の小鳥が可愛い聲でさへすつてゐる。デッキに出る、一天快晴東天を拜す、同船の青少年義勇軍の一行三百名、デッキに出て朝の勤めをやつて居る、何れも十五歳位から二十歳位までの若人達、東方を遙望し「天皇彌樂」を唱へ、最後に植民の歌、其の一節に、
萬世一系類ひなき
すめらみことを仰ぎつゝ、
天涯萬里野に山に
荒地開きて救島の
大和心を植ふるこそ
日本男子の譽なれ
嗚呼何ぞ勇壯なる、明治維新をなし遂げた者は邊境の青少年であつた。昭和維新、大陸日本建設の志士は果して誰であるか、青少年諸君の前途の多幸を祈つて止まない。

入山坑の三氏北 支の炭鑛開發に

石城郡湯本町の入山炭鑛會計係長藤岡源道氏外同僚の大衆善導、福田藤行兩氏は同炭鑛

輪王寺宮御旅泊 遺蹟建碑趣意

御遺蹟保存會謹識
六、附則、
(一)本旨を達するまでの費用は、時局柄一般よりの寄附をなるべく避け、主として特志家の義金を受けて之れに充つるものとす、

四倉署管下の勞 働調査委員

石城郡四倉署管下の勞働調査委員は左記に任命された

安全週間の協議

本縣工場協會四倉支部では来る七月一日から實施される安全週間につき今二十八日午後一時同署に協議會を催す

満支の視察から

本縣囑託 關内正一氏
愈々明二十二日前六時清津港入港、大陸に一步を印する譯だ、思ひを滿洲の天地に馳せ十時臥床(以上山丸にて)

主人荒しの雇人

平市紺屋町丸玉合名會社の雇人水野兼夫(三)は昨年未から本年五月末まで双葉郡浪江町の新興西彌助方に被雇中同郡大堀村金澤雜貨店から白米二俵の注文を受けて運搬の際主家へは一俵と話し二俵を受取り横領してゐた外十六件に上る主家荒しを發覺二十六日浪江署に檢舉さる

新與タイヤン付 ウエル萬年筆

一、五〇以上
商工省主催「代用品工業振興展覽會」出品中込の各種代用品一萬數千種中萬年筆としてはウエルタイヤン一最優なる鑒査に合格したる新興國策製品
總代理 魁文堂
電話三三三

士官學校を一番で出た前途有爲の青年將校だ、令夫人は平市社會課長四家久米治氏の長女孝子さんである、私はその仲人親たるの光榮を有するのである、
主人荒しの雇人
平市紺屋町丸玉合名會社の雇人水野兼夫(三)は昨年未から本年五月末まで双葉郡浪江町の新興西彌助方に被雇中同郡大堀村金澤雜貨店から白米二俵の注文を受けて運搬の際主家へは一俵と話し二俵を受取り横領してゐた外十六件に上る主家荒しを發覺二十六日浪江署に檢舉さる

農業の機械化

今や轉換期【八】

農務の不足に
經營の合理化も
スエヒロ式、板野式とほゞ
同じい構造で發動機より中
間軸、この軸から回轉爪及
び移行用車輪への傳導は總
てチェーンを使用してゐる
性能は三種がほゞ同様であつ
て燃油發動機二馬力乃至三馬
力を使用、一反歩の耕耘に要
する時間は一時間三十分から
二時間、石油の消費料は一升
から一升五合、モーター油二
合で充分、一反歩當りの消耗
品一圓六十錢見當である、使
用し得る場所は無限軌道式で
は半乾田で、車輪式は乾田に
限られてゐるが耕耘した土礫
は細粉されるため牛馬耕のや
うに碎土器を必要とせず直ち
に荒蕪き、代かきが出来、
整地に要する勞力は著しく節
約される、縣下一部農村では
すでに同機を共同購入し出征
軍人遺族の農耕奉仕に利用
してゐる、

以上に述べたやうに小型ト
ラクターの使用は非常な勢ひ
で普及しつつある、大分縣や
秋田縣や、新潟縣の状況は全
國各地方に於ける代表的な一
例であつて殊に事變下に於け
る従後農村の勞力不足を補ひ
且つ更に進んでは寧ろ従来よ
り以上の耕整にもと云ふ意氣
込みから縣によつてはトラク
ター一合の購入に對して百圓
(約三分の一)の補助金を交付
し農村の機械化に一大躍進振
りをほいでゐるが現在全國で
二千數百台と見られるものは
茲一、二年にして倍加するで

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

あつと云ふ勢ひである(完)

スペイン GHN 元詰

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒

御婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です

(平二) 西村屋薬舗 (電三)

お醤油は ヤマフル

醤油、味噌
たひら正宗
節食料品

明治生命警城代理店

山崎合名會社

電話 本業部二七〇番
店部二七〇番

山崎與三郎

産科婦人科 院長 木村寅次郎

外科 醫學博士 内木宗八

藥局 藥劑師 大岩俊雄

入院隨意 木村病院

病室完備

平市新川町九一 電話一六四番

涼味そゝる

夏物洋品愈々進出

スマートなカンカン帽子
可愛らしい...お子様帽子
婦人・子供清潔着
その他 色々陳列

つるや 平電140

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士

婦人科 五十嵐雄二

平市新川町「電話二六九番」

債券、公債

多田井質店

平市大町 電話五九一番

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し
内科、小兒科の診療に従事せしむ

平病院

(平市元共濟病院跡)
電話六四一番

院長 醫學博士 鈴木定藏

副院長 鈴木定藏

內科 院長 鈴木定藏

小兒科 副院長 高橋俊幸

皮膚泌尿科 院長 鈴木定藏

物理療法科 院長 鈴木定藏

藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從来す(急患は此の
限りにあらず)

平田町(三丁目裏川岸通)

明雲堂眼科醫院

電話六六九番

入院應需(自炊の便あり)

診療科目

一、齒科 一般
保存科、補綴科、繼續架工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、

一、口腔外科
一、レントゲン科

平市田町(松月堂向E)

中野齒科醫院

電話五〇九番

院長 日本齒醫學會士 中野憲次
日本齒醫學會士 關谷伍郎
部長 佐藤重義

カバと洋品類



(電話五六) 眞砂屋 (前驛、市平) (り通道新)

和洋雜貨、金物國產

益屋商店

九九・九零

請毒下りの大妙藥

安流丸

特約 山野邊藥局